

個別の教育支援計画をつくりませんか？

個別の教育支援計画とは？

発達の遅れなどから学習面や行動面、生活面において支援を必要としているお子さんが、何に困っているかを見極め、どんな支援が必要かを、たくさんの人とともに考え作成していくのが、個別の教育支援計画です。

個別の教育支援計画を作成・活用することで、幼稚園や学校、相談機関、支援者等とつながり、乳幼児期から学校卒業後まで、お子さんをみんなで支えていくことにつながります。

個別の教育支援計画を活用すると・・・

病院や療育機関、学校等、関係する機関と一緒に、支援内容を考えてるので、将来にわたっての一貫した支援の見通しがもてる！

幼稚園・保育所等

福祉・医療・労働などの関係機関

中学校

小学校

高等学校・大学等

就職等

本人のやりたい職業や、やってみたい仕事を個別の教育支援計画に記載し本人とともに支援内容を考えられる！

子どもの育ちの一步一步が記録できて、保護者の願いや、本人の希望を盛り込んでいける！

病院や発達支援センターなどに行く度に同じ話をしていたのが、個別の教育支援計画を見てもらうことで解決！

生育歴、これまでの指導の記録が記載されているので、学校や学級が変わっても指導・支援が引き継がれるので安心！

作成するには？

個別の教育支援計画は、本人・保護者が主体となって学校等と作成し活用することができます。

まずは、**担任の先生、市町村教育委員会**にご相談ください。

個別の教育支援計画 ～就学移行期用シート～			
氏名	北海道 太郎	性別	男
生年月日	平成○○年○月○日	学年	○年○月○日
保護者	北海道(父)	住所	○市○区○町○番地
作成者	○市○立○小学校	就学先	○市○立○小学校
作成日	○年○月○日	作成日	○年○月○日
更新日	○年○月○日	更新日	○年○月○日

●本人・保護者の願い等	
本人の願い	保護者の願い
将来の夢 お父さんのように、がんばって働けるよう大人になりたい。	将来の夢 ・就職して、自立した生活を営んでほしい。
課題等 ・電車に乗車や戸口の立ち上がり	就学先 ○市○立○小学校(通常の学級)
学校 ・教室に居る意欲の本をたくさん読みたい。	学校 ○市○立○小学校(通常の学級)
生活等 ・夏休みと仲良く遊びたい。	生活等 ・自分の興味のあるものでも、パソコンを好きになりたい。友達と遊ぶ機会を増やしてほしい。

●就学前における支援状況(平成○○年○月現在)			
課題	支援機関	支援の内容	資料
① 言葉の発達	発達支援センター	言語発達士による言語訓練	○
② 集団生活の参加	発達支援センター	少人数の集団によるロールプレイング	○
③ 生活リズムの確立	○市○立○小学校	個別の教育支援計画・個別指導の作成	○
④ 読書の習慣の確立	○市○立○小学校	読書の楽しさを伝えるための読み聞かせ	○
⑤ 発達の遅れ等の把握	発達支援センター	発達支援センターでの個別指導	○

●教育的ニーズの測定	
・本人の発達状況やこれまでの様子などの特徴を踏まえた学習環境を設定するなどして、学習への意欲を高め、基礎的・基本的な学力を身に付ける。	
・担任及び支援員の支援を受けながら、友だちと一緒に活動する機会をもち、自己肯定感を高めながら、仲間と交流し社会性を培う。	

●就学先の学校における合理的配慮の内容(平成○○年○月○日作成)			
項目	配慮	支援の内容	備考
教育内容	学習上又は生活上の困難を改善するための配慮	「適切な個人別課題の選定」や「目標達成の遅れや異なった学習ペース」があることから、学習内容の調整の困難さを軽減する配慮を行う。	個別の教育支援計画の作成・実施と併せて実施
教育方法	個別の学習進度・理解	基礎的・基本的な学習内容の達成を目標とし、必要に応じて学習内容の変更・調整を行う。	授業・活動の内容を個別の指導計画に併記
交流活動	学習機会や体験の確保	行事等で見直しをもちた活動となるよう、事前で予定を調整する。	支援員による指導や同伴等の配慮
	心身の健康の確保	パソコンの操作や授業参加の準備に必要に応じて、本人の様子を確認しながら適切な支援を行う。	・予定外の作業は本人にも負担を軽減
	学習環境の整備	学習環境を整備し、必要に応じて、個別の学習環境を整備する。	・全教職員に通知
	児童や教職員、保護者等への理解促進を図るための配慮	・AEDの取扱い、火災の発生や地震などの災害発生時の対応について、事前に十分な説明を行う。	・本人がみんなを助めるよう教育活動の展開
	災害時等の対応体制の整備	・災害時における適切な対応の確保や、避難の在り方について事前説明を徹底する。	○市○立○小学校の教職員を研修講師として招く
施設・設備	校舎設備のバリアフリー化	・各教室に点字の表示が設置されている。	・本館からの教育内容を全教職員に通知
	騒音、臭気対策(防音対策)や自然環境の整備	・大音量の音楽や騒音は、クールダウンの環境に移設させ、心を落ち着かせる。	・支援員が対応し、その対応状況を個別に把握
	災害対策への対応(避難訓練)や、避難経路の確保	・体育館にバリアフリーを確保する。	・教育委員会が関係機関と連携して実施
	災害対策への対応(避難訓練)や、避難経路の確保	・本人が避難経路を確認する。	

支援者と一緒に、子どもの成長を確認！

本人の得意なことや苦手なこと、これまでの指導・支援の内容が記載されているので就職先でも活用！

子どもに関わる支援機関の役割が分かる！

取扱いについては？

個別の教育支援計画に記載された内容は、学校と十分に話し合っで記載し、同意した以外の人へは公開しません。基本的に個別の教育支援計画は、保護者が保管しますが、在学中は保護者の同意を得て学校が一時的に保管することがあります。

北海道教育庁学校教育局特別支援教育課学校教育指導グループ
〒060-8544 札幌市中央区北3条西7丁目道庁別館
電話 011-204-5774 FAX 011-232-1049